

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年 3月 6日 (木)

2 確認箇所

瓦礫類一時保管エリア1 (図1)

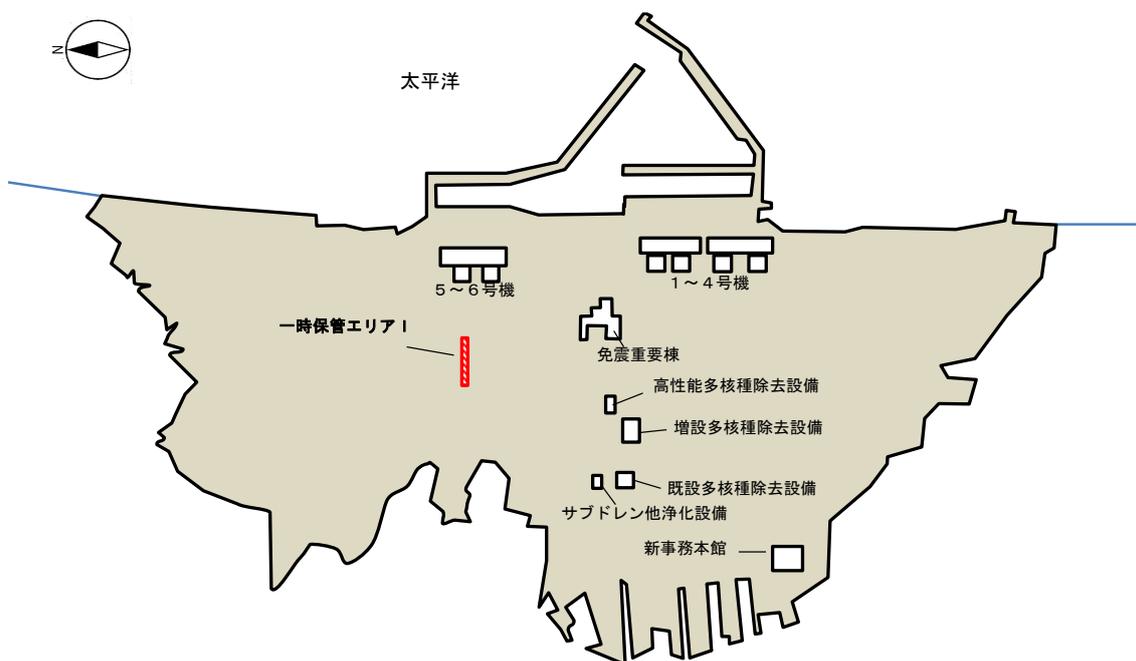
3 確認項目

瓦礫類一時保管エリア1の現況確認

4 確認結果の概要

東京電力では、中長期ロードマップの目標工程「2028年度内までに、水処理二次廃棄物及び再利用・再使用対象を除く全ての固体廃棄物の屋外での保管を解消」の達成のため、屋外で一時保管されている瓦礫類等の固体廃棄物を屋内保管へ移行し、屋外一時保管エリアの解消を進めている。本日は、1m³コンテナ積みとなっている瓦礫類一時保管エリア1における廃棄物の保管管理状況について確認を行った。

- ・エリア内は、1m³コンテナが廃棄物種別毎に2～4段積みの状態で一時保管されていた。また、前日及び前々日の降雪や降雨影響によるものと思われる水溜まりがエリア内に散見された。(写真1)
- ・1m³コンテナの内容物は、タイベックスーツ、チャコールフィルタ及び難燃ゴム手袋等であり、廃棄物の種類ごとに区分された状態で保管されていた。(写真2)
- ・一部の1m³コンテナには、側面及び底部の接合部分に若干の錆が認められたが、廃棄物の飛散・流出は見られなかった。(写真3)



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
瓦礫類一時保管エリアIの状況①
(廃棄物の種類ごとに1m³コンテナ
2~4段積みで保管)

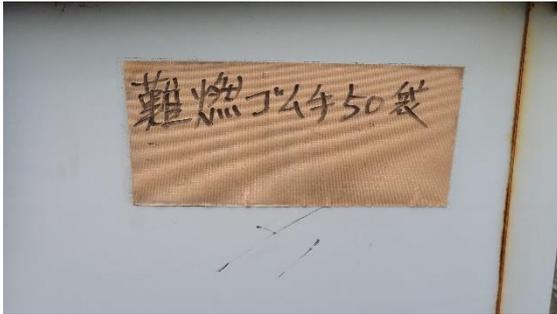


(写真1-2)
瓦礫類一時保管エリアIの状況②
(降雨雪による水溜まりの発生)

エリア内に生じた水溜まり



(写真2-1)
瓦礫類一時保管エリアⅠの状況③
(1m³コンテナ内の内容物を表示)



(写真2-2)
瓦礫類一時保管エリアⅠの状況④
(内容物の表示例)



(写真3)
コンテナの一部には、側面・底部に
おいて錆等が認められた。

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。